

2025年度JICA海外協力隊（連携派遣）募集用FAQ

2025.2.12現在

	カテゴリー	キーワード	質問	回答
1	企画・相談段階	派遣国内容	派遣国や内容についてどのように決めれば良いか。JICAと相談できるか。	派遣国と分野については、これまで関りがあったり、今後関わっていきたい国や分野など、「国別ニーズ」を参考にしてお選びください。
2	企画・相談段階	派遣国	相談時に派遣国や内容が決まっていないが良いか。	コンサルティングは一度ですので、その機会を有効にご活用いただくためにも「国別ニーズ」もご参照の上、候補国を決めていただいてご相談いただく事をおすすめします。
3	企画・相談段階	派遣国対象国	世界中のどの国であっても連携派遣は可能か。	JICA海外協力隊を派遣している国となります。具体的には募集要項別紙2「2025年度JICA海外協力隊連携派遣国別ニーズの一覧」でお確かめください。なお、対象国でも、派遣国の政治・治安上の理由等で派遣ができなくなる場合があります。
4	企画・相談段階	派遣国	提案時に連携派遣対象国を必ず選定しなければならないか。	提案書の提出時、対象国を定めてご提案いただきます。募集要項別紙2「2025年度JICA海外協力隊連携派遣国別ニーズの一覧」もご参照ください。
5	企画・相談段階	国別ニーズ	「国別ニーズ」に合致していれば採択されるか。	国別ニーズはあくまで対象国や分野を検討される際の参考情報となります。国別ニーズに該当する提案であっても、具体的内容によっては受け入れが来ない可能性もあり、また、案件採否については、計画の妥当性や現地への貢献等、様々な観点から総合的に審査いたします。
6	企画・相談段階	優先分野	示された優先分野での提案の場合、採択されやすいか。	優先分野を考慮する場合がありますが、計画の妥当性や現地への貢献等、様々な観点から総合的に審査いたします。
7	企画・相談段階	審査	案件審査はどのような観点で実施されるのか。	審査項目については、募集要項をご参照ください。記載の通り様々な視点を総合的に勘案して審査いたします。また、絶対評価ではなく相対評価となりますので、大きな問題が無いご提案であっても不採択となる場合があります。
8	企画・相談段階	参考事例	既存の事例を知りたい。	連携派遣の事例はこちらをご参照ください。 https://www.jica.go.jp/volunteer/relevant/interview/ ただし、従来の制度下での事例であり、必ずしも同じ内容の派遣が実施できるとは限らない点、ご注意ください。
9	企画・相談段階	倍率	採択の倍率はどの程度か。	応募件数によって変わりますので、現時点では不明です。
10	企画・相談段階	連携期間	連携期間は、必ず3年から5年である必要があるか。	長期隊員を複数代派遣するため、3～5年の協力期間となります。
11	企画・相談段階	活動内容	所属人材が海外経験を積むインターンのような機会として活用したい。そのため派遣国に貢献する活動は提案が難しいが問題無いか。	JICA海外協力隊はODAの一環として途上国の課題解決への貢献が期待されていますので、インターンとしての活用はできません。
12	企画・相談段階	研究	大学の研究活動としての活用を考えているが可能か。また、研究費は付くか。	JICA海外協力隊（連携派遣）の事業趣旨として、あくまで派遣先となる開発途上国の課題解決に貢献することが目的となるため、調査・研究・技術開発・試験を中心とした提案は対象外となります。また、一般公募で派遣される隊員と同じ待遇のため、特設研究費のようなものはございません。
13	企画・相談段階	会社の業務	企業の業務も行うために派遣したい。	民間企業からの派遣の場合でも、JICA海外協力隊として活動していただくため、派遣中は会社の業務はできません。しかし、派遣された社員の方は貢献活動に取り組み、現地で得た文化、習慣、経済、社会、宗教、歴史、言語、人脈などさまざまな経験が大きな価値となり、帰国後、その経験をビジネスにも活かしていただけます。
14	企画・相談段階	隊員派遣候補者の推薦	長期隊員の複数派遣が必要とのことだが、複数名同時に派遣する必要があるか。	複数名同時に派遣する必要があるということではありません。複数名というのは、1代で終わるのでなく2代以上という意味ですので、1名派遣し、次にもう1名という事となります。1代（1名）限りの派遣ではなく、現地への協力を一定期間実施し、一定の継続性やインパクトを目指すということとなります。
15	企画・相談段階	大学生	大学生の派遣を考えているが、問題無いか。	可能です。ただし、JICA海外協力隊の事業趣旨として途上国の課題への貢献が一定程度求められるため、具体的にどのような貢献が可能か、国の選定や内容の十分な検討が必要である点、ご了承願います。
16	企画・相談段階	短期派遣のみ	短期派遣のみの派遣は可能か。	原則不可です。ただし、短期隊員全員が語学力や海外での活動経験、専門知識等十分に有しており、限られた期間で十分な成果を出す事が可能であると考えられる場合は、短期派遣のみでご提案いただくことが可能です。具体的なレベル感としては海外での業務経験が豊富であり、元協力隊員であるなど、即戦力として当該国での業務・活動ができる方を想定しているため、学生レベルの方は想定していません。また、提案団体会員（コスト負担含む）の現地派遣による短期派遣隊員のサポートが可能な場合もありますが、長期派遣隊員と遜色無い支援が出来るかなど、計画内容が重要となります。
17	企画・相談段階	派遣期間	派遣期間を2週間程度としたいが、可能か。	不可です。最低1ヵ月以上で計画してください。
18	企画・相談段階	派遣時期	派遣の時期は選べるか。	選べますが、定められた選択肢から選んでいただくこととなります。長期派遣に関しては、年3回の訓練・派遣時期（「隊次」と呼んでいます）が設定されており、いずれかを選択可能です。短期派遣は、長期派遣とプロセスが異なりますが、長期派遣同様、決まったタイミングで選考プロセスにご応募いただく必要があります。いずれにしても、案件が採択された場合、派遣希望時期についてはJICAとよくご相談ください。
19	企画・相談段階	待遇手当	金銭面でどのような待遇となるのか。	長期隊員の場合、渡航費、宿泊費、現地生活費（月額数百ドル程度、国によって異なる）、国内手当、支度料等です。短期隊員の場合、宿泊費、日当等です（支度料と国内手当は支給対象外）。渡航費は団体会員負担（上限あり）となります。詳しくは募集要項をご参照ください。
20	企画・相談段階	現職参加 現職参加促進費	連携派遣においても、現職参加促進費は一般公募での派遣と同じか。	一般公募、連携派遣に関わらず、要件を満たせば現職参加者の所属先に月額107,500円の現職参加促進費をお支払いします。ただし、連携派遣で派遣される大企業は対象外となっておりますので、ご注意ください。
21	企画・相談段階	航空賃費用負担	短期隊員の航空賃の負担とは何か。	団体側で航空賃（税金や手数料等含む、エコノミー正規引料金）をご負担いただきます。ただし、1人当たり15万円を上限とし、超える場合、残りはJICAが負担します。お支払い方法は旅行会社にお支払いいただく予定です。なお、航空賃を団体会員とするか、参加者本人負担とするかを指定するものではありませんので、負担割合は適宜団体内にて決定してください。
22	企画・相談段階	引率者旅費	引率者の旅費は出るか。	関係者、引率者の旅費はありませんので、引率される場合は団体側にてご負担をお願いします。
23	覚書	派遣計画	提案が採択されれば提案した人数の派遣が可能か。	案件採択後、具体的な派遣計画についてはJICA担当者よりご相談いたします。
24	覚書	覚書	覚書締結時に内容を変更したいが可能か？	基本的に覚書雛形の本文は変更しない前提でお願いしておりますが、もし不都合などある場合、ご相談をお願いします。
25	覚書	提案団体会書	覚書は、連名か、Witnessなどの何らかの形で複数団体がサインする形も認められるか。	署名は複数団体でも可ですが、複数団体が関わる場合、提案書にて言及願います。また、代表団体・窓口を決めていただき、案件実施中も協議、調整が必要な場合は、原則としてその代表団体を通じてご連絡、調整をいたします。
26	覚書	覚書電子署名	覚書を連携相手方の会社の希望に従い、同社が利用するシステムを利用した電子署名を行うことで問題ないか。	電子署名自体は問題ありませんが、利用するシステムがデジタル庁指定の電子署名の要件を満たすかをご確認ください。
27	候補者推薦・応募・派遣	語学	語学スコアが無い人がいるが、推薦して良いかOKか。	語学スコアは必須のため不可です。すぐに結果が出る語学試験（JICA海外協力隊募集HPで確認してください）を受験をしてください。
28	候補者推薦・応募・派遣	語学	既に一度同じ国で隊員の経験がある人は語学免除にならないのか。	語学免除になる場合があります。
29	候補者推薦・応募・派遣	隊員派遣候補者の推薦 選考合格、不合格	連携派遣で候補者として推薦した人物がJICAの選考で不合格となる場合はあるか。	一般的には、連携派遣での選考で不合格になることは一般公募の選考より少ない傾向にはありますが、推薦した方が不合格になることはあります。JICA海外協力隊としての派遣となるため、面接審査、及び健康診断結果の判断（長期派遣の場合）を行います。技術に関する審査は、提案団体が保証するとの前提で一般公募とは異なり免除となりますが、候補者の自発的な参加意思・意欲が重要となるため、人物面接にて候補者ご本人の意欲が見られなかったり、JICA海外協力隊への参加目的についてのご理解が十分ではない場合など、不合格となる可能性があります。また、開発途上国での生活・活動となることから、健康診断結果の判断は厳密に行います。健康が理由で不合格になる場合も少なくないため、以下もご参照の上、日頃からの健康管理にご留意願います。 https://www.jica.go.jp/volunteer/application/long/physicalcheck/
30	候補者推薦・応募・派遣	応募手続き	2026年度1次隊での派遣を想定しているが、現時点で何かをする必要があるか。	6月に予定している案件の仮採択後に、一般公募の2025年秋募集の手続きに沿って対応頂き、基本的にオンラインで各種書類を提出頂くこととなります（健康診断書の原本を除く）。人選など組織内部の検討をしていただく事は構いませんが、案件が不採択となってしまう可能性がある事はご了承願います。
31	候補者推薦・応募・派遣	健康診断	団体内の人選決定から候補者エントリー期限まで時間が無い。健康診断結果が間に合わなくても良いか。	健康診断結果は期日までにご提出いただく必要があります。健康診断は結果が出るまで一定期間が必要ですが、選考に必須となりますので、予め早めに手続きを行ってください。
32	候補者推薦・応募・派遣	推薦対象者関係者	派遣する隊員は自分の組織（大学、企業、自治体）に所属している人でなければならないか。派遣できる「関係者」の定義は何か。団体が責任を持って推薦すれば良いのか。	団体が責任を持って推薦する事が前提ですが、対象者は原則として提案団体に過去や将来（帰国後）の予定を含めて7年以上所属する方（職員、教員、学生等）となります。
33	候補者推薦・応募・派遣	応募資格年齢	派遣時点で20歳であれば良いのか、応募時点で20歳になっている必要があるのか。	応募締切日時時点で19歳であっても、訓練開始時に20歳であれば応募が可能な場合があります。詳しくは、よくある質問にてご確認ください。または、JICA担当者にご相談ください。
34	派遣計画	派遣計画	予定通り派遣できない場合は何かペナルティがあるか。	ペナルティはありませんが、できるだけ計画に沿って派遣していく事が期待されます。
35	派遣計画	案件継続	覚書期間が終了した案件を継続したいが可能か。	覚書終了案件を継続する希望がある場合、新規提案としてご申請いただくようお願いいたします。なお、早期に提案する事が困難な場合は、ご相談ください。